

緊急銃猟への市町村の対応状況と県の支援等について

【現状】

県内35市町村のうち、年度内の運用開始予定は6市町

【主な課題】

1. ノウハウが不足するため研修や訓練が必要
2. 保険への加入や備品調達が必要
3. 猟友会会員から不安の声が多く、捕獲者の指定が進まない

【県の対応】

1. 市町村のマニュアル作成の参考として「クマが市街地に出没した際の対応指針」改正
研修・訓練費用への支援（9月補正予算）
2. 保険加入費用・備品（ヘルメット・盾・クマスプレーなど）
購入費用への支援（9月補正予算）
3. 猟友会各支部長向け説明会の開催
4. 「緊急銃猟タスクフォース」による市町村長訪問
（要請に応じた個別相談の実施）

⇒今後とも円滑な運用を支援

